



川崎中ロータリークラブ会報

KAWASAKI NAKA ROTARYCLUB/FOUNDED 1972.7.15

【2024-25 年度 地区方針】「次世代につなごう！！」

会 長 野口 新二
副 会 長 萩原 ひとみ
幹 事 小島 正徳
S A A 富岡 昭一
会報委員長 一ノ瀬 仁敏

2024～2025

第 2433 回例会

2025 年 1 月 21 日

例会日 毎週火曜日 12 時 30 分点鐘
例会場 川崎市中原区小杉町 3-10
ホテル精養軒
TEL(044)711-8855
事務所 川崎市中原区小杉町 3-428
山協ビル 402 号 TEL(044)722-
4331 FAX(044)722-6334
E-mail: k-naka@galaxy.ocn.ne.jp
URL: <https://www.kawanaka-rc.com>

例 会 報 告

開会点鐘 野口 新二会長
司 会 富岡 昭一会場監督
合 唱 ロータリーソング
「君が代」「奉仕の理想」
クラブソング
「拓け未来へ 拡げる友の輪」

お客様紹介 上原 伸一親睦活動委員
亀ヶ谷 純子様 横浜港北ロータリークラブ
徳安 久是様 川崎中原ロータリークラブ
内藤 亜由美様 内藤幸彦会員ご長女
小林 正樹様 川崎中原ロータリークラブ

今後のプログラム

日 時	プログラム
2/4	会員お祝い 米山奨学金授与 会員卓話 代田美紀会員 理事役員会
2/11	休 会

出席報告

大友 徹出席委員長

会員数	出席数	欠席数	出席率	前々回訂正出席率
41 名	33 名	8 名	89.19%	86.49%

41 名	33 名	8 名 対象外 (4)	89.19%	欠 9 名 対象外 (4)	MU0 名	86.49%
------	------	-------------------	--------	---------------------	-------	--------

【本日の欠席者】

三木 治一会員 長谷川俊雄会員 渡邊 新治会員
朝倉 和信会員 齊藤かおり会員 佐川 陽子会員
市川 宏 会員 富岡 昭一会員

ニコニココーナー 一ノ瀬仁敏会場監督(補)

亀ヶ谷 純子様:本日はお世話になります。どうぞよろしく
お願い申し上げます。

徳安 久是様:エチオピアご支援よろしくお願ひ致します。

小林 正樹様:本日は例会にお邪魔させていただきます。
この度は島先生大変お世話になりました。心より深く感謝申し上げます。また川崎中 RC の皆様には日々温かなご厚情を賜り重ねて御礼申し上げます。

野口 新二会長:SA の富岡さんが急用の為小丸さんに代わって頂きました。内藤さん本日の卓話よろしくお願ひ致します。また本日ご来賓の皆様ようこそいらっしゃいました。ありがとうございました。

小島 正徳幹事:18.19 日と父の法要に多くの方々のご会葬頂きました花も頂きましてありがとうございます。この場を借りてお礼申し上げます。

内藤 幸彦会員:今日は港北 RC の亀ヶ谷様・中原 RC の徳安様私の長女あゆみの3人で第12回エチオピア教育支援の報告をさせていただきます。いつも皆様のご支援ありがとうございました。

川口 禮敬会員:今日も元気に例会でられました。よろしく!!

白井 正男会員:エチオピア教育支援活動報告、内藤会員また皆さん楽しみです。

小丸 日出夫会員:富岡委員長が急用で欠席なので拙い司会進行で大変申し訳ございません。またお客様の亀ヶ谷様・徳安様・内藤亜由美様「エチオピア教育支援」に関する卓話よろしく願い致します。

小島 徹会員:今日はエチオピア報告に亀ヶ谷様・徳安様・内藤亜由美様そして内藤幸彦会員よろしく願います。

小泉 繁勝会員:内藤会員のエチオピア支援は高く評価されご尽力に敬意を表します。

細山 勝三郎会員:内藤会員卓話ご苦労様です。久々のお話楽しみです。また亀ヶ谷様・徳安様・内藤亜由美様ありがとうございます。

鹿島 義久会員:今日はエチオピア教育支援卓話には亀ヶ谷様・徳安様よろしく願い致します。

川崎高津 1/30(木)第5週につき例会なし
 川崎麻生 1/24(金)移動例会『初詣例会』12:00
 崎琴平神社本殿新年祈禱 点鐘:12:30 琴平会館
 川崎中央 1/20(月) 例会終了後職場訪問 川崎市役所
 1/27(月) 新春夜間例会 目黒雅叙園 点鐘:18:00

2. 会報受領 川崎北 RC 川崎中原 RC 川崎とどろき RC
3. 新年の賀状が届いております。
4. タウンニュースに当クラブの新年ご挨拶が掲載されております。
5. <再連絡>年会費納入のお願い 2025/1~3月分 89,100円を1/初にご指定の口座より引落しさせていただきました。現金での納入の方は1月の例会時にお願い致します。

合計	13件	27,000円
累計	327件	487,000円

会長報告

野口 新二会長

1. 国際ロータリーより今月のロータリーレートのお知らせが届いております。2025年1月 1\$ = 157円(ご参考)2024年12月 1\$ = 150円
2. 地区より2025年RI会長主催 平和主義(トルコ イスタンブール)ツアーのご案内が届いております。日時:2月17日(月)~23日(日)旅程:18-19日 世界遺産カッパドキア観光/20-22日 RI会長主催 平和会議参加 地区よりロータリーリーダーシップ(RLI)「卒後コース」開催のお知らせが届いております。日時:2月16日(日)9:00~15:30 場所:聖光学院中学校高等学校
3. ハイライトよねやま 298 が届いております。
4. 川崎中央ロータリークラブより創立40周年記念式典のご案内が届いております。日時:4月7日(月)場所:横浜ベイシエラトンホテル&タワーズ対象者:会長・幹事

幹事報告

小島 正徳幹事

1. 例会変更
新川崎 1/22・29(水) 休会

卓 話

演題「エチオピア教育支援」



ご紹介：内藤 幸彦会員



横浜港北ロータリークラブ 亀ヶ谷 純子様

2024.12 亀ヶ谷 純子

第 12 回エチオピア教育支援機基金

今回で 12 回目を迎えるエチオピア農村部への教育支援活動は、団員 6 名が川崎市から「かわさき国際友好使節」に認定され、各人の思いを胸に秘め実行されました。

私の思いは亡夫と一緒に参加した第 10 回目から続きます。長時間の過酷なジープ移動による体調不良者が多数発生など強烈な印象の第 10 回目には内藤団長のお嬢様が二人揃ってご参加。ご家族に引き継がれる先生の熱い思いを強く感じま

した。

そして 3 回目の今回はご長女と次女のご主人が初参加。前回に続きご一緒の徳安さんとエチオピアへの支援活動を常に調整。尽力されたバーバリッチ優子さんという素晴らしいメンバーに恵まれて安全に支援活動と貴重な経験の旅となりました。

前回から僅か 11 年の間に首都アジスアベバは変貌を遂げ、まったく新しい近代都市が誕生していました。11 年前の中国の進出は不調だっただけに、今回の成功に驚きました。外務大臣に感想をお聞きする機会を頂き、長期に渡る地道な支援活動を続けてきた日本の支援には感謝しつつも、目の前の発展を推進した中国の積極性には感謝しているとのこと。また日本大使館からの懸念を受けて、机の贈呈式参列を断念する苦渋の決断となり、改めて民間ボランティアのあり方について深く考えさせられる機会となりました。

半世紀に渡る熱き思い継続されていらっしゃる内藤先生のお姿には、学ばせて頂くことばかりで敬服致します。このような貴重な機会に恵まれたことに心からの感謝と同時に、エチオピアの恵まれない子供達の顔から、笑顔が消えないことを心からお祈りするばかりです。



川崎中原ロータリークラブ 副会長 徳安 久是様

第 12 回エチオピア教育支援機基金

今回で12回目を迎えるエチオピア農村部への教育支援活動は、川崎市から「かわさき国際友好使節」に認定され、また、エチオピアでは、外務副大臣ムスガヌ氏から直接、今までの教育支援に対する感謝の気持ちと今後の継続を強く要請され、私たちの草の根外交への高い評価にとっても感激しました。一方、空港でのアイスクリームによる団結式も大きな特徴かな、、、(笑)。

私たちのミッションは、エチオピア農村部に机や教育機材を自ら現地に赴き届けるというものです。

残念ながら、ミッションは志半ばで断念せざるを得なくなりました。それは、内藤団長にとって、苦渋の選択であり、断腸の思いであつたらうことは団員全員が容易に推察できました。今回が最後になるかもしれないという、団長の強い思いを知っていましたからなお更です。

到着後、前回同様、アベバチゴベナ孤児院を訪問、2021年にご逝去された「アフリカのマザーテレサ（ニューヨークタイムス引用）」と言われた創設者のアベバチゴベナ女史を追悼し、ミルク代が寄付されました。そこで受けた施設の生徒さんたちからの歓迎の歌には感激しました。続いて日本大使館を訪問。訪問団、特に団長の長年にわたる草の根支援活動に敬意が表されるも、エチオピアの政情不安から、市内から出ないで頂きたいというもので、一同とてもビックリし落胆するものでした。

団長は、邦人保護を第一に考える大使館からの要請と先ずは団員の身の安全という観点から、市外での贈呈式への参加を取りやめるという決断を下しました。「私たちのミッションは机の寄贈であり、セレモニーへの参加ではない。目的は既に達成している。」という団長の言葉は忘れられません。

翌日は、空いた時間をドライバーさんからの招待を受け、ご自宅で会食し、彼のご家族と共に楽しく過ごしました。

エントット山の山頂から、この十年で大きく変わった市内インフラを目のあたりにし、発展を喜ぶ一方、中国資本が原動力であることから、「日本にやってもらいたかった!」とJICA出身の団長の痛恨の一言が今でも耳に残っています。



内藤幸彦会員 ご長女 内藤 亜由美様

第12回エチオピア教育支援『机基金』活動報告

内藤 幸彦

内藤 亜由美

2024年9月25日(水)～10月2日(水)まで、アフリカ・エチオピアで教育支援・机基金の活動を行ないました。エチオピア国内治安状況の悪化や、コロナ感染症のために、11年振りの訪問となりました。訪問のきっかけですが、以前の活動の際に現地知り合った州の副知事が、この11年間に外務副大臣に昇格し、今春の日本訪問時に「是非サポートを」と直接依頼をしてきたことによります。「自分は木の下で勉強した」という副大臣は、故郷の村に学校を建て、その学校の教育設備を支援して欲しいとの旨でした。

11年振りのアディスアベバは、目覚ましい発展を遂げており、観光客用の有料公園や

施設、高層ビルが増築され、中国支援の電車も2路線引かれ、道路事情が格段と整備されていました。しかし、交通渋滞はひどく、アディスアベバ市内の移動では時間が全く読めませんでした。昔市民が頻用していたタクシーやバスより、高級乗用車が増えたようでした。目覚ましい発展の陰で、貧困格差が拡大し、大気汚染や公害、交通渋滞なども継続する問題であると感じました。

エチオピアのマザーテレサと呼ばれたアベベチゴベナさん（数年前に他界された）が作った孤児院を今回も訪問し、孤児の赤ちゃんたちへのミルク代や西中原中学PTAより寄贈されたピアノ等を贈呈して来ました。併設された母子センターには2名の医師が常駐していました。帝王切開などを行う手術室も備えるものの、施設の設備は最低限で、今後も継続した支援が望まれます。訪問した日の前夜に生まれた双子の赤ちゃんを抱きながら、私の長女の子どもも双子なので、彼らの生まれた日の事を思い出しました。

その後に訪問した日本大使館では、参事官と領事の二人が、現在のエチオピア国内の治安状況を丁寧に説明してくれました。この11年間でエチオピアの地方都市の治安は悪化し、旅行者が襲われたり、誘拐されたりの実例を挙げて説明して下さいました。大使館側からの懸念を受け、全員で話し合った結果、今回はチーム（6人メンバー）全員で行動する代わりに、現地を良く知るコーディネーター1人が机（3人掛け椅子付き長机）の贈呈式に立ち会う形になりました。田舎の学校の子供たちと交流するのが一番の楽しみで、その為に長時間の飛行機の旅（行き20時間帰り24時間）をしたので、とても残念な気持ちでの決断でした。しかしながら、安全第一に行動することがボランティア活動の基本であり、当初の計画に変更はあったものの、本来の目的を果たしたことに変わりはありません。

当初の予定では100脚の長机が、交渉の結果120脚に増えていたこと、村での贈呈式は今までと同様、子供たちが本当に喜んでいたとの報告に一同喜びました。アカデミーの生徒が描いた絵と交換に、現地の子供たちが描いた絵も持ち帰り、帰国後に川崎市国際交流センターや西中原中学校で絵画展を開催しています。

『万が一の危険』が現実になれば、日本政府に身代金のお世話になっていたかも知れず、第2の故郷が終の棲家になっていたかも知れず、それでは本来のボランティア活動の意図は良いものでも、良い結果とは言えません。今回の経験を通し、人の為になる活動には様々な形があり、限界を理解し、政府のアドバイスや現地の状況に柔軟に対応した上での活動が重要であることを学びました。予定変更でアディスアベバ滞在が増え、国の歴史やアディスアベバ市内の状況を良く知る機会にもなりました。